

# カトリック千葉寺教会 ★ボランティア通信★

No. 6 (2011年6月26日号)

カトリック千葉寺教会信徒の皆様

災害支援対策グループでは、「カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）」の支援活動をサポートすると共に、主にカトリック宮古教会（岩手県宮古市）からの依頼に応えるべく、微力ながら被災者支援のための取り組みを始めています。

これからも、被災者の方々と向き合い、共に歩いていきたいと思っています。

皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

災害支援対策グループ担当：

## A. カトリック千葉寺教会の信徒の皆様へ

☆3月11日に発生した東日本大震災によって被災なされた方はいらっしゃいますか？

3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方において甚大なる被災を被りましたが、私たちの住んでいる千葉県においても、例えば、旭市では津波による大きな被害が、浦安市やその他の市町村においては“液状化現象”による家屋倒壊等の被害が発生していることを忘れてはなりません。わがカトリック千葉寺教会所属信徒の居住区としても、稲毛地区、美浜地区、花見川地区等の湾岸地域にお住まいの方がいらっしゃいますが、被害に遭われていなければと危惧しております。。そこで、災害支援対策グループでは、千葉寺教会信徒の方の被災状況を把握させていただきたいと思えます。

信徒の皆様の中で、このたびの東日本大震災によって被災された方はいらっしゃいますか？  
また、被災なされた方をご存じの方はいらっしゃいますか？

該当なさる方は、また、各地区において何かお気づきのことがありましたら、“災害支援対策グループ” 椿 まで、ご連絡ください。

千葉寺教会共同体としてできることを、ご一緒に行って参りたいと思えます。

ご連絡、ご報告をお待ちいたしております。ご協力をお願い申し上げます。

## B. カトリック東京ボランティアセンターからの支援物資提供依頼に関して

カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）から発信されました、各支援団体による支援物資提供の依頼に対しまして、たくさんのご厚意を賜り厚く御礼申し上げます。

品物毎に梱包し、各支援団体に送付させていただきました。

### ①夏物衣料（主に、子供服・ベビー服）

→ 「国際サイエントロジー災害救援ボランティアチーム」を通して、気仙沼の避難所へ

※物資到着後、国際サイエントロジー災害救援ボランティアチームの責任者より、御礼のメールがありました（6月22日）。急に暑くなってきたため、夏物衣料の需要が高まっているとのこと。可愛らしい洋服の数々、たいへん喜ばれておりました。

### ②調味料（醤油・味噌・砂糖・塩・料理酒・酢）

→ 「ピースポート災害ボランティアセンター」を通して、石巻の避難所へ

※物資到着後、ピースポート災害ボランティアセンターの石巻地区担当者より、御礼の電話がありました（6月21日）。避難所における炊き出しに、いくらあっても足りない状況とのことで、様々な調味料が届いたことをたいへん喜んでいらっしゃいました。

### ③タオル・T字カミソリ・入浴剤

→ 「NPO全国福祉理美容師養成協会 りびボラプロジェクト」を通して、

石巻の福祉避難所で障害者や高齢者の衛生支援を実施するために  
※物資到着後、NPO全国福祉理美容師養成協会・りびボラプロジェクトの事務局より、御礼

のメールがありました（6月22日）。カミソリはひげ剃り等に、タオルや入浴剤は高齢者たちに人気のある“足湯”の際使用します、とのこと。夏季に入り、清潔さをさらに求める声も多く、たいへん喜ばれておりました。

被災地では、長期的な支援を必要としています。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## C. カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）より

### ☆イベント、情報交換会、等のお知らせ

#### ①「東日本大震災とどう向き合うか 被災地から見た3・11」開催のお知らせ

（2011年6月24日発信）

#### 山浦玄嗣 講演会

##### 「東日本大震災とどう向き合うか 被災地から見た3・11」

岩手県大船渡市の医師・山浦玄嗣（やまむら はるつぐ）さんは、聖書を地元の方言「ケセン語」に翻訳したことで知られている。自らも被災し、大津波に見舞われたガレキの町で、医師として人々を支え続けた。惨害の野に立った時、山浦さんの胸に去来したのは、絶望は絶望のまま終わらないということ。そして「祈り」とは、目の前の出来事の中にあらわれる神の声を聞くことだ、ということだった。今、聖書を読みながら、災禍を引き受けて生きる希望を語る。

日時：2011年7月23日（土） 17:00～19:00（16:30開場）

場所：上智大学10号館講堂  
東京都千代田区紀尾井町7-1

※入場無料、申込み不要

\*当日、会場にて被災地復興のための募金にご協力をお願いします。

主催：（学校法人）上智学院

共催：カトリック東京国際センター（CTIC）  
カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）  
カトリック麹町教会  
難民支援協会

協力：女子パウロ会宣教センター

問い合わせ先：上智大学カトリックセンター tel. 03-3238-4161

### ☆参加報告

#### 「南三陸町ボランティア報告とCTVCボランティア募集説明会」

\*6月23日（木）19:00～20:40

フランススコ会聖ヨゼフ修道院1Fホールにおいて

- ①イエズス会の塩谷恵策神父様のグループが5月27日～6月2日まで宮城県南三陸町で行ったボランティア活動についての報告会
- ②CTVCよりボランティア募集説明会、また、被災地支援に関する相談会

#### ①報告者：イエズス会修練者（越智直輝さん、森晃太郎さん）

内容は、5月27日～6月2日（現地活動5日間）まで宮城県南三陸町にて行ったボランティア活動について。瓦礫撤去等の力仕事を想定して入るも、実際に希望されたのは傾聴。避難所となっている「志津川高校」の廊下に設置された「ケアカフェ 心香（coco）」にて、美味しいコーヒーを飲みながら、避難者の方々の話に耳を傾けるというボランティアを行うことに。

「自分の思いと要求されていることのギャップに悩み、自分一人の思いなど、何の力にもならないという無力感に襲われた。」

→ ボランティア活動後、毎晩行われる“分かち合い”の時間によって、癒され、励まされた。ボランティア活動は“つながり”が大切。CTVC、仙台教区サポートセンターの活動は、すべて「カリタスジャパン」の活動の一環として行われており、

仲間がいることは力強い。

「ボランティア活動を行う場所にもよるが、今後は被災者、避難者の心のケアの必要性が高まることと思う。必要なことは、心に余裕を持って接すること、自分のやりたいことではなく、相手にとって必要なことは何かを考えること。ボランティアとは、自分が何かをやる、という気持ちではなく、相手のニーズにひたすら応えること。」

「皆、生きる意味、自分が存在していることの意味、を探している。」

「心の壁を作らないこと。被災者として接するのではなく、共にいられることに喜びと感謝をもって接すること。」

## ②ボランティア募集について

CTVCでは、仙台教区サポートセンター（SDSC）との連携の下、CTVC協力ベースへの継続的なボランティア派遣を通じた被災者の支援を行っている。

塩竈を筆頭に、石巻、釜石の各教会を主にボランティア活動ベースとしており、現在は特に南三陸町のボランティアを募集中。（南三陸町はカトリック米川教会がベースとなっている。）

内容は、活動場所によって多岐にわたる。現地では、まだまだ多くの人手を必要としている。ボランティア活動についてのご質問、ご相談は、CTVC事務局、または樁までご連絡ください。

## D. 支援物資を募集しています！

（カトリック東京ボランティアセンター発信）

現在、下記支援物資を募集しています。なお、これらの募集に関しては、期日は特にありません。現場では、長期的な支援を求めています。皆様の温かいご支援を、ご協力をお願い申し上げます。

### ◆夏物衣料（子供服からお年寄り向きまで。新品のみ！）

\*気仙沼、女川、石巻の各避難所で需要があります。

※依頼者： 国際サイエントロジー災害救援ボランティア

### ◆T字カミソリ

タオル

入浴剤

\*介護施設や老人ホームで使用します。

※依頼者： NPO全国福祉理美容師養成協会

### ◆BOXティッシュ

ウェットティッシュ

ラップ

紙皿などの使い捨ての器

\*気仙沼にあるケアハウスで需要があります。まだ水が出ていないため、衛生面が心配です。

※依頼者： 日本病院ボランティア協会

### ◆虫除け製品（殺虫剤・ハエ取り紙・蚊取り線香、等。電気を使わずニオイが強くないもの。）

\*避難所では、夏季に入り虫害の問題が発生しています。

日焼け止め

粘着シートローラー（コロコロクリーナー）

ブルーシート

\*各避難所で需要があります。

※依頼者： ピースボート災害ボランティアセンター

\*上記の希望物資を提供できる方は、教会に直接お持ちください。ホールに段ボールを用意いたしましたので、品目毎に分けてお入れ下さい。なお、上記の希望物資以外のものを、教会に持ち込むことはご遠慮ください。物資はある程度まとまり次第、各団体に送付いたします。

\*先方の受け入れ状況によっては、皆様の善意をお受けすることが出来ない場合がありますことをご了承下さい。